










## 教育学部学校教育教員養成課程リーディングリスト

通し番号	学問領域	基本情報（書名、著者、出版年など）	キーワード
1	教育学	内田樹（2008）『街場の教育論』 ミシマ社、1680 円	
難易度	推薦者	コメント欄（80～100字程度）	
		著者自身の推薦のことばより「教育は熱く論じてはならないというのが私の教育論です。できることならみなさん（政治家も官僚もメディアも）教育のことは忘れてくれませんか・・・というお願いの一冊。」	
通し番号	学問領域	基本情報（書名、著者、出版年など）	キーワード
2	教育学	斎藤喜博（2006）『授業入門』 国土社、1680 円	
難易度	推薦者	コメント欄（80～100字程度）	
		授業者にとって古典的な名著。	
通し番号	学問領域	基本情報（書名、著者、出版年など）	キーワード
3	教育学	蒔田晋治（2006）『教室はまちがうところだ』 子どもの未来社、1500 円	
難易度	推薦者	コメント欄（80～100字程度）	
		中学校教諭が作った詩。教室に掲げられることが多い。	
通し番号	学問領域	基本情報（書名、著者、出版年など）	キーワード
4	教育学	灰谷健次郎(1998)『わたしの出会った子どもたち』 角川文庫、480 円	
難易度	推薦者	コメント欄（80～100字程度）	
		子どもを深く理解するための必読書。	
通し番号	学問領域	基本情報（書名、著者、出版年など）	キーワード
5	教育学	灰谷健次郎(1974)『兎の眼』 角川文庫他	
難易度	推薦者	コメント欄（80～100字程度）	
		宇宙人のような子どもと出会っても、息長く関われば道が開けること実感させてくれる。どんな子どもにも背景がある。それを理解してあげることの大切さを感じられます。	
通し番号	学問領域	基本情報（書名、著者、出版年など）	キーワード
6	教育学	柴田義松・山崎準二編（2005）『教育の方法と技術』 学文社、1620 円	
難易度	推薦者	コメント欄（80～100字程度）	
		カリキュラム論、授業論、教育の技術、学力と教育評価についての概説書。	
通し番号	学問領域	基本情報（書名、著者、出版年など）	キーワード
7	教育学	吉崎静夫(1997)『デザイナーとしての教師、アクターとしての教師』 金子書房、3240 円	
難易度	推薦者	コメント欄（80～100字程度）	

		教師は授業を作る人(脚本家)でもあり、演じる人(役者)でもあるのです。	
通し番号	学問領域	基本情報 (書名、著者、出版年など)	キーワード
8		志水宏吉(2005)『学力を育てる』岩波新書、798 円	
難易度	推薦者	コメント欄 (80~100 字程度)	
		「学力」をどう捉えるべきか、平易に書かれている。「学力の樹」がわかりやすい。	
通し番号	学問領域	基本情報 (書名、著者、出版年など)	キーワード
9	教育学	大村 はま (1996) 『新編 教えるということ』 ちくま学芸文庫、840 円	
難易度	推薦者	コメント欄 (80~100 字程度)	
		「カリスマ国語教師」と呼ばれた大村はまの古典的名著です。	
通し番号	学問領域	基本情報 (書名、著者、出版年など)	キーワード
10		『大村はま 教室で学ぶ』小学館、1500 円	
難易度	推薦者	コメント欄 (80~100 字程度)	
		分かりやすく、「教室で学ぶ、教えることは学ぶこと、単元学習は生きた教室」の3部構成で読みやすい。お薦め。	
通し番号	学問領域	基本情報 (書名、著者、出版年など)	キーワード
11		田中耕治(2005)「時代を拓いた教師たち」、1800 円	
難易度	推薦者	コメント欄 (80~100 字程度)	
		戦後教育実践からのメッセージを分かりやすくコンパクトにまとめている。	
通し番号	学問領域	基本情報 (書名、著者、出版年など)	キーワード
12	教育学	加野芳正 (2011) 『なぜ、人は平気で「いじめ」をするのか?』日本図書センター、1500 円	
難易度	推薦者	コメント欄 (80~100 字程度)	
		いじめ問題を考える必読書。	
通し番号	学問領域	基本情報 (書名、著者、出版年など)	キーワード
13	教育学	鈴木孝夫 (1990) 『日本語と外国語』岩波新書、800 円	
難易度	推薦者	コメント欄 (80~100 字程度)	
		国による文化の違いを語るとともに、日本語の長所をも浮き彫りにする、真の国際理解を進める上で必読の本。	
通し番号	学問領域	基本情報 (書名、著者、出版年など)	キーワード
14	教育学	里見実 (2001) 『学ぶことを学ぶ』太郎次郎社、2160 円	
難易度	推薦者	コメント欄 (80~100 字程度)	

		図書の扉より「学校文化が誇る「知性」や「能力」の切れ味は、若者が振り回すナイフの切れ味と同じだ。	
通し番号	学問領域	基本情報（書名、著者、出版年など）	キーワード
15	教育学	谷川俊太郎・河合隼雄・見田宗介（1997）『子どもと大人』岩波書店、1200円	
難易度	推薦者	コメント欄（80～100字程度）	
		著名な3名による対談形式の読みやすい図書。	
通し番号	学問領域	基本情報（書名、著者、出版年など）	キーワード
16	教育学	七条正典他『未来への扉を拓く道徳教育』（2015）美巧社 1500円	
難易度	推薦者	コメント欄（80～100字程度）	
		幼稚園から高等学校、少年院に於ける道徳教育の取組や基本的な事柄を大学生や若年教員向きにまとめられた著書。	